



GO! 剛! ニュース 26号は
シェアリングエコノミーと
市の花カノコユリに
ついてです。

GO! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第26号

シェアリング=共有、交換・エコノミー=経済の仕組みの活用を

シェアリングエコノミーとは、「物、場所や乗り物など個人所有で利用されていない資源をインターネット上のマッチングプラットフォームを介して有効に活用していく新しい経済の動き」であり、地域課題の解決につながる手法として地方創生の観点からも注目されています。

人口減少の時代に、この活用は費用対効果の高い、施策目的達成の手段になるのではないかと考えました。公助から共助への持続可能なまちづくりを実現するシェアリングシティを目指してはどうか、と考えました。

平成30年度のふれあいバス、コミュニティバスの事業費は7243万円、18万人が利用、利用者アンケートは約8割が満足、ですが、利用していない市民の改善を求める声を数多く聞きます。そこで、バスの運行から企業のシステムを活用したカーシェアリングに手段を変更してはどうか。まずは日の里団地に限定して団地再生とあわせた実証実験を行っては、と提案しました。しかし、法規制上難しく、今後の国の法的整備が望まれます。

観光分野においては国の規制緩和が先んじて行われ、民泊等で活用がすすんでいます。観光情報の発信は世界遺産があるから宗像に来た人に対する紙媒体が中心でしたが、今後は直接広く宗像のよさを伝えるシェアリングエコノミーサービスを介した情報発信に変更すべきと提案しました。

シェアリングエコノミーは新しい概念ですが、その本質はもともと宗像にある「もやいの精神」です。近代以前から生きるために助け合うことは社会が成り立つための共通意識でした。宗像の風土が築いたもやいの精神が現代に必要とされ、ICT技術の発展とともに、新しい経済の潮流となっています。温故知新の心で古来の精神性を懐きつつ、これからのまちづくりに挑戦していくべきと考えます。

シェアリングエコノミーは空間、物、スキル、移動、お金の5つに分類されています。

<p>「物」をシェア。不用品や今は使っていないもの。メルカリ等。</p>	<p>「移動」をシェア。自家用車の相乗り、自転車サービス。ウーバー等。</p>
<p>「空間」をシェア。空き屋や別荘、駐車場など。エアビーアンドビー等。</p>	<p>「お金」をシェア。サービスやプロジェクトに現金を貸し出す。マクアケ等。</p>

市の花カノコユリの普及を

カノコユリの普及活動は、平成21年から九州大学と連携して調査を行い、宗像固有種を確認。種から球根、開花までに約5年を要し、土壌や環境が生育に大きく影響する花であることから、水と緑の会と連携して球根を栽培し普及促進に取り組みました。平成26年からはカノコユリ研究会が発足し、普及・繁殖の研究を行いながら市民向けの講習会を行っています。

平成28年からはさらなる普及を目的に、研究会会長宅の吉田花園、釈迦院広場、山田螢の里公園で1000人を超える来客の鑑賞会を実施しています。

カノコユリ研究会で10年間活動をされてきた吉田会長に、山中の育成農場や自生地、吉田花園を案内して頂きました。個人的に園芸に興味があり、いろいろ教えて頂いたのですが、開花までに5年かかり、生育環境に非常に敏感な上、花期は1週間というカノコユリを普及させ、成果をあげるには並々ならぬご苦労があったことだろうと感じました。

「カノコユリは適した環境のところに植えて、地域住民が関心を持ってほんの少し手助けをする必要があります。正確な知識と経験



昭和56年に宗像市の花となったカノコユリは、絶滅危惧種に指定されている希少な植物で、宗像市は全国でも珍しい自生地です。

を持ち、地域の中核として活動できる人が必要」とのことでした。講習会により人材育成が行われていますが、私も球根を頂いたので大事に育てたいと思います。

市の花の存在意義が明文化されてなかったので、質問したところ、「郷土愛を醸成し、シンボルとなる貴重な花」であり「英知が重ねられ今日まで受け継がれてきた花が自生し続ける取組を検討」との伊豆市長の言葉でした。

宗像は自然を崇拝する、お互いを思いやり助け合う、という精神が息づいています。

まちに花や音楽があふれ、心の余裕を持ちつつ、未来を見据え変化していく、それが新しい宗像だと感じました。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

宗像市議 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす

現在 宗像市久原に在住
宗像市監査委員
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

7月



山笠教室が始まり、連続して授業をすると喉がかわれます。追山当日の東郷小学校グランドのかきいれは雨のため出来ませんでした。太鼓での出迎えや校舎からのオイサの掛け声が響き渡り、感動しました。夏祭り東郷、津屋崎山笠の加勢、示現神社の御下り、と夏の行事が続きます。

8月



宗像高校ラグビー部の夏合宿がグローバルアリーナで行われました。県内外の高校、大学が数多く合宿し、早朝から試合を行います。その風景は正に九州の菅平。吉武地区はやや高地です。第6回を迎えた宗像国際環境100人会議は「常若」がテーマでした。環境を考え、再会を楽しみました。監査委員として出張も多く、長野へ。そばが本当においしい。初めて食べた胡桃そばは絶品でした。

9月



ラグビーワールドカップが開催されました。8年前からラグビーワールドカップのキャンプ地に、と訴え続けた私でさえ驚く盛り上がりです。ラグビーワールドカップに関しては次号で詳しく記載します。